2023（令和５）年４月６日（木）

Airplane

国立市立国立第三中学校
第二学年通信　第１号

中堅

進級おめでとう！中学二年生のスタートです。いよいよ『中堅』学年になりました。いや、『中堅』たるべき学年になりました。本当の意味で、三中の『中堅』となれるのか、あるいは単なる『中だるみ』で終わってしまうのか。みなさんの『心』と『力』が試される一年間ですね。

改めて『中堅』という言葉を辞書で調べてみると、『全軍の精鋭（勢いが強くて鋭い力を持っていること、そういう人、特に兵士）が集まるから「堅」という。①主将の統率（一団の人をよくまとめてひきいること）に直属（直接に属していること、指揮・監督を受ける上下の系統に属していること）する中軍。②中心となるしっかりしたもの。団体の中核となって大事な役を果たす人。③野球で、外野の中央部。センター。（広辞苑）』とありました。

剣道や柔道などの武道の団体戦では、試合順序がチームの真ん中の選手（五人で一チームの場合は三番目、七人で一チームの場合は四番目）を、『中堅』といいます。中学の剣道大会は、『先鋒、次鋒、中堅、副将、大将』の五人で団体戦を行うのが普通です。本校の剣道部の外部指導員でお世話になっている雨宮先生は、毎年秋の新人戦の時に、二年生・一年生の新チームを組んで初めて大会に参加する新米選手を前に、それぞれの役割を説明して下さいます。その中で雨宮先生は、「団体戦の勝敗は、中堅で決まるといっても言い過ぎではない。例えば、先鋒・次鋒と黒星スタートを切ったとしても、中堅の奮闘（力のかぎり戦うこと、努力すること）から逆転勝利となることもある。また、その逆もある。」とおっしゃいました。

つまり、前半の好スタートを生かせるか否かは『中堅』しだいということなのです。

そこで、みなさんのことに目を転じてみましょう。昨年の四月に三中に入学以来、みなさんは、学習に、部活動に、体育祭・合唱コンクールなどの大きな行事や自然体験スキー教室やＴＧＧ校外学習などの学年行事、そして何よりも毎日の学校生活の中で、三中生として本当に真面目に取り組んできたと思います。それを、二年生へ進級した今年度もぜひ続けてほしい。三中の中堅（＝二年生）の姿が、三中の姿を作っていくのだという自覚を持って今年度の学校生活に臨んでほしい。さらにその先、来年度に目を転じるならば、これまでの幾多の先輩たちにも負けない、素晴らしい最上級生となり三中をリードし、自らの手で進路を切り開き、この校門から巣立っていってほしい！それが私達二学年担当教師の願いです。

当事者として世に立とう

四月六日。『中堅』としてのみなさんの新年度がスタートしました。新しい教室、そして新しい仲間。一年生の時以上に素晴らしいクラスを、学年を作り上げましょう。

本日の予定：4月6日（木）特別時程

- 新クラス発表：西東昇降口前ﾌﾟﾘﾝﾄ配布。
- クラスを確認したら、西昇降口の**２年生新クラスの下駄箱**（出席番号順になっています）に靴を入れて、速やかに**３階**の新教室へ（座席は出席番号順になっています）。なお、**8:25予鈴で着席完了**。
- 8:30　学活
- 8:40　出席番号順に廊下に二列で整列（右側出席番号１番、左側同 21 番先頭）。体育館へ。
- 8:45　着任式、始業式
- 9:20　旧クラスに移動し書類など整理
- 9:40　新クラスにて学活
- 10:25 清掃

※１，７日（金）は入学式（**指示された生徒以外自宅学習**）。
※２，10 日（月）は午前授業。教科書配布あり、**大きめのバッグ、名前ペン持参**。
※３，11 日（火）は**体育着登校**。**給食開始**。
生徒会ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ。身体計測。
※４，**保健調査票（黄色）・生徒個人票（白色）生徒引き取りカード（黄緑色）は、保護者の方が確認の上４月１０日（月）提出**

中堅学年へ進級おめでとう！

新クラスを確認したら、東昇降口の自分のクラスの下駄箱を確認（４桁の番号表示、例：『２５４０』→２年５組４０番）して下足を入れ、３階の各自の教室で学活準備（着席は 8:25 の予鈴）。教室では、出席番号順に着席（各教室の黒板の指示をよく読むこと）。